

小学校

「総合的な学習の時間」全体計画

【 総合的な学習の時間の目標 】

課題を追究する学習活動を通して、学習活動への関心・意欲・態度を高め、学び続ける力やコミュニケーション能力、自己を見つめ直す力を育成する。

【 育てようとする資質や能力及び態度 】

①学習方法に関すること

3・4年	<ul style="list-style-type: none"> 課題を見付けるとともに、解決方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる。 情報を収集し、相手や目的に応じてわかりやすくまとめる。
5・6年	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を収集する方法を考えたり、情報から比較したり、関連付けたりして考える。 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。

②自分自身に関すること

3・4年	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもち、課題解決に向けて、自分の意思で行動する。
5・6年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来を考え、生活や身近な地域の在り方について考え、実践する。

③他者や社会とのかかわりに関すること

3・4年	<ul style="list-style-type: none"> 他の人と協同しながら課題を解決する。 地域の一員であることを意識しながら生活する。
5・6年	<ul style="list-style-type: none"> 異なる意見や他の人の考えを受け入れる。 課題の解決に向けて地域の活動に参加する。

【 学習内容 】

	学習対象・学習事項
3年	アイヌの人たちが大切にしている文化（歌・舞踊）や価値を対象に、アイヌ文化の伝統とよさについて学ぶ。
4年	アイヌの人たちが大切にしている文化（衣食住）や価値を対象に、アイヌ文化の伝統とよさについて学ぶ。
5年	アイヌの人たちが大切にしている文化（伝統行事）や価値を対象に、アイヌ文化の伝統とよさについて学ぶ。
6年	アイヌの人たちが大切にしている文化や価値、歴史を対象に、アイヌ文化の伝統とよさについて学ぶ。

【 学習活動 】

3年	アイヌの人たちの文化にふれる。（歌や踊り、昔話）
4年	アイヌの人たちの文化を調べる。（アイヌ語と衣食住）
5年	アイヌの人たちの伝統を調べる。（伝統行事や文化財）
6年	アイヌの人たちの歴史を調べる。（差別や偏見）

【 指導方法 】

3年	関心や意欲を高めるため、体験活動を重視する。
4年	関心や意欲を高めるため、体験活動を重視する。
5年	互いに学び合う協同的な学習の充実を図る。
6年	互いに学び合う協同的な学習の充実を図る。

【 学習の評価 】

3年	調べたい課題を決め、学習の計画を立てることができる。
4年	調べたい課題を設定し課題を解決する方法を考えたことができる。
5年	調べた内容やまとめ方について、工夫点に気付くことができる。
6年	これまでの学習をまとめ自分の生き方を見つめることができる。

【 指導体制 】

3年	担任を中心に、複数の教員による指導を行う。 外部講師（白糠アイヌ文化保存会）との連携を図る。
4年	担任を中心に、複数の教員による指導を行う。 外部講師（白糠アイヌ文化保存会）との連携を図る。
5年	担任を中心に、複数の教員による指導を行う。 外部講師（白糠アイヌ文化保存会）との連携を図る。
6年	担任を中心に、複数の教員による指導を行う。 外部講師（白糠アイヌ文化保存会）との連携を図る。

【 地域との連携 】

教育委員会が窓口となり、白糠町アイヌ文化保存会と連絡調整を行う。

【 小・中の連携 】

「アイヌ文化出前講座」の内容が系統性のあるものとなるよう小・中学校の教諭が情報交換を行う。

【 各教科等との関連 】

主として、国語科と道徳の時間との関連を図り、内容により社会科、家庭科と関連付けた指導を行う。

中学校

「総合的な学習の時間」全体計画

【 総合的な学習の時間の目標 】

自ら課題を見付け、探究活動に主体的、創造的に取り組み、自己の生き方を考えることができる力を育てる。

【 育てようとする資質や能力及び態度 】

①学習方法に関すること

1年	・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 ・相手や目的に応じて理論的に表現する。
2年	・視点を定めて多様な情報を集め、分析する。 ・複雑な問題の事実や関係をとらえ、考える。
3年	・問題解決を目指してできごとを比較したり、原因や結果を結び付けて考え、自分の考えをもつ。

②自分自身に関すること

1年	・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する。
2年	・自分の行為について責任をもち、意思決定する。
3年	・自分の生活や地域の在り方を見直し、日常的に実践する。

③他者や社会とのかかわりに関すること

1年	・互いのよさを生かし、協同して課題を解決する。
2年	・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。
3年	・課題の解決に向けて、協力して社会活動に参加する。

【 学 習 内 容 】

	学習対象・学習事項
1年	アイヌの人たちが大切にしている文化や価値を対象に、アイヌ文化の伝統とよさについて学ぶ。
2年	アイヌの人たちが大切にしている文化や価値、歴史を対象に、アイヌ文化の伝統とよさについて学ぶ。
3年	アイヌの人たちが大切にしている文化や価値、それを継承する取組を対象に、アイヌ文化の伝統とよさについて学ぶ。

【 学習活動 】

1年	アイヌの人たちの歴史と文化について小学校の学習から考える。
2年	アイヌの人たちの歴史と文化について社会科の学習から考える。
3年	アイヌの人たちの歴史と文化について人権問題から考える。

【 指導方法 】

1年	実感を伴う体験活動を重視するとともに、言語活動の充実を図る。
2年	各教科等との関連を図るとともに協同的な学習の充実を図る。
3年	各教科等との関連を図るとともに、言語活動の充実を図る。

【 学習の評価 】

1年	学習や活動に意欲的に取り組み、気付いたことやわかったことを生かそうとする。
2年	互いの調査結果から、複雑な問題の事実や関係について考えることができる。
3年	情報を比較したり、原因や結果を結び付けて考えることができる。

【 指導体制 】

1年	学年所属の教師を中心とし、外部講師との連携を図る。
2年	学年所属の教師を中心とし、外部講師及び外部施設との連携を図る。
3年	学年所属の教師を中心とし、外部講師との連携を図る。

【 地域との連携 】

教育委員会が窓口となり、白糠町アイヌ文化保存会と連絡調整を行う。

【 小・中の連携 】

第1学年は小学校からの接続を踏まえた学習活動を行い、第3学年では、小・中7年間の学習のまとめを意識し、地域に発信する学習活動を行う。

【 各教科等との関連 】

国語科との関連を中心とし、社会科〔公民的分野〕や技術・家庭科、特別活動、道徳の時間との関連を図る。

小学校

第3学年

体験活動	アイヌの人たちの歌や踊り	時 数	3時間								
体験活動の目標	○ アイヌの人たちの歌や踊りの体験を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について興味・関心をもつことができる。										
地域の人材について	○ 白糠アイヌ文化保存会による「アイヌ文化出前講座」を活用する。 ※北海道教育委員会の北海道アイヌ教育相談員の活用										
地域の施設について	○ 平取町立二風谷文化博物館 ※古式舞踊が体験できる施設 (http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/) の活用										
時 間	<p style="text-align: center;">学習過程 ● 主な学習内容</p>	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点									
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 「アイヌの人たちの歴史・文化等」について知っていることを出し合い、アイヌの人たちに対する興味・関心を高める。 ・アイヌの人たちの歴史・文化等に関するクイズをする。 ・地名にアイヌの人たちの言葉が使用されていることを知る。 	<input type="checkbox"/> 「ピラサ」のクイズを活用する。 <input checked="" type="checkbox"/> アイヌの人たちの歴史・文化等は身近なものだが知らないことが多いことに気付かせ、体験への意欲を高める。 <input type="checkbox"/> 体験活動に意欲的に取り組み、感じたことや考えたことを話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽や体育の授業で学習した歌や踊りとの比較の視点をもたせる。 <input type="checkbox"/> 講師には、歌や踊りに込められているアイヌの人たちの思いについて触れてもらう。 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動で感じたことをワークシートに記入し、交流する。									
2～3	<ul style="list-style-type: none"> ● 「アイヌ文化出前講座」を実施し、歌や踊りなど、アイヌの人たちの文化について体験する。 ・歌や踊りについての説明を聞く ・歌の体験～すわり歌（ウポポ）「イカムツカサンケ」「イタサンカタ」など ・踊りの体験～輪踊り（ホリッパ、リムセ）など <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・歌のことばが難しかった。 ・あまり見たことのない楽器があった。 ・初めてだったけどうまく踊れた。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 体験活動を通しての感想を発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歌や踊りにはいろいろな意味があることが分かりました。 </div>										
特別の教科 道徳 (1時間)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>主題名</td> <td>郷土を愛する心 内容項目C- (16)</td> </tr> <tr> <td>資料名</td> <td>①はあと・ふる1：アイヌの人たちの伝統的な楽器「ムックリ」 ②「わたしたちの道徳」4- (5) きょう土を愛する心をもって</td> </tr> <tr> <td>ねらい</td> <td>地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。</td> </tr> <tr> <td>体験活動との関連</td> <td>①導入で、はあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な楽器「ムックリ」の写真を提示し、歌や踊りを体験したときに感じたことを想起させる。 ②終末で、「わたしたちの道徳」4- (5) ふるさとを愛した歌人（石川啄木）を読む。</td> </tr> </table>			主題名	郷土を愛する心 内容項目C- (16)	資料名	①はあと・ふる1：アイヌの人たちの伝統的な楽器「ムックリ」 ②「わたしたちの道徳」4- (5) きょう土を愛する心をもって	ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。	体験活動との関連	①導入で、はあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な楽器「ムックリ」の写真を提示し、歌や踊りを体験したときに感じたことを想起させる。 ②終末で、「わたしたちの道徳」4- (5) ふるさとを愛した歌人（石川啄木）を読む。
主題名	郷土を愛する心 内容項目C- (16)										
資料名	①はあと・ふる1：アイヌの人たちの伝統的な楽器「ムックリ」 ②「わたしたちの道徳」4- (5) きょう土を愛する心をもって										
ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。										
体験活動との関連	①導入で、はあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な楽器「ムックリ」の写真を提示し、歌や踊りを体験したときに感じたことを想起させる。 ②終末で、「わたしたちの道徳」4- (5) ふるさとを愛した歌人（石川啄木）を読む。										

小学校

第4学年

体験活動	アイヌの人たちの文化を知ろう	時 数	3 時間								
体験活動の目標	○ アイヌの人たちの文化にかかわる様々な体験を通して、アイヌの人たちの文化等についての関心を高めることができる。										
地域の人材について	○ 「アイヌ文化出前講座」を活用する。										
地域の施設について	○ 特になし										
時 間	<p style="text-align: center;">学習過程</p> <p style="text-align: center;">● 主な学習内容</p>	<p>□ 評価</p> <p>○ 人材、施設、資料等の活用</p> <p>■ 指導上の留意点</p>									
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近にある地名からアイヌ語に興味をもつ。 ・「ピラサ」のアイヌ語会話を活用する。 ● 「アイヌ文化出前講座」を実施し、身近なアイヌ語を実際に話す体験をする。 ● 体験活動を通して感じたことをまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地名にはアイヌ語に関係するものが多いんだね。 ・アイヌの人たちの文化をもっと知りたいな。 </div>	<p>□ 体験活動に意欲的に参加している。</p> <p>■ 体験活動で感じたことをメモするよう指導する。</p> <p>○ 「ピラサ」</p> <p>■ メモをもとに、体験活動を通して感じたことをまとめ、発表する。</p>									
2・3	<ul style="list-style-type: none"> ● グループに分かれてアイヌの人たちの衣食について体験する。 ・晴れ着を着たり、アイヌ文様について実際に書いたりする。 ・アイヌの人たちの伝統的な料理を食べる。 ※グループを入れ替え、どちらも体験する。 ● 感想を発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの生活についてもっと知りたいな。 ・自分たちでもアイヌの人たちの伝統的な料理をつくってみたいな。 </div>	<p>□ 体験活動に意欲的に参加し、アイヌの人たちの文化に興味を高めている。</p> <p>■ アイヌ文様や伝統的な料理についての説明を行い、自然と共生してきたアイヌの人たちの文化に対する興味を深める。</p>									
特別の教科 道徳 (1時間)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">主題名</td> <td>敬う気持ち 内容項目D- (20)</td> </tr> <tr> <td>資料名</td> <td>①はあと・ふる2「コタンに生きる」 ②「わたしたちの道徳」3-(3) 美しいものを感じて</td> </tr> <tr> <td>ねらい</td> <td>自然がもつ人間の力を超えた節理や力に感動する心情を養う。</td> </tr> <tr> <td>体験活動との関連</td> <td>①導入で、アイヌの人たちの文化についての体験を想起し、自然を大切に するアイヌの人たちの生活について振り返る。 ②展開で、はあと・ふる2「コタンに生きる」を読む。 ③終末で、「わたしたちの道徳」3-(3)の「わたしたちの心が動くのは 感じる心があるから」を活用する。</td> </tr> </table>	主題名	敬う気持ち 内容項目D- (20)	資料名	①はあと・ふる2「コタンに生きる」 ②「わたしたちの道徳」3-(3) 美しいものを感じて	ねらい	自然がもつ人間の力を超えた節理や力に感動する心情を養う。	体験活動との関連	①導入で、アイヌの人たちの文化についての体験を想起し、自然を大切に するアイヌの人たちの生活について振り返る。 ②展開で、はあと・ふる2「コタンに生きる」を読む。 ③終末で、「わたしたちの道徳」3-(3)の「わたしたちの心が動くのは 感じる心があるから」を活用する。		
	主題名	敬う気持ち 内容項目D- (20)									
	資料名	①はあと・ふる2「コタンに生きる」 ②「わたしたちの道徳」3-(3) 美しいものを感じて									
	ねらい	自然がもつ人間の力を超えた節理や力に感動する心情を養う。									
体験活動との関連	①導入で、アイヌの人たちの文化についての体験を想起し、自然を大切に するアイヌの人たちの生活について振り返る。 ②展開で、はあと・ふる2「コタンに生きる」を読む。 ③終末で、「わたしたちの道徳」3-(3)の「わたしたちの心が動くのは 感じる心があるから」を活用する。										

小学校

第5学年

体験活動	伝統的なアイヌ料理	時 数	3 時間												
体験活動の目標	○ 伝統的なアイヌ料理の調理体験を通して、アイヌの人たちの文化についての関心を高めることができる。														
地域の人材について	○ 「アイヌ文化出前講座」を活用する。														
地域の施設について	○ 特になし														
時 間	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">学習過程</div> ● 主な学習内容		<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点												
1～2	● 「アイヌ文化出前講座」を実施し、伝統的なアイヌ料理の調理体験を行う。 ・「チェブ・オハウ」		<input type="checkbox"/> 体験活動に意欲的に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 休憩時、体験活動で感じたことをメモするよう指導する。 <input checked="" type="checkbox"/> メモをもとに、体験活動を通して感じたことをまとめ、発表する。												
3	● 体験活動を通して感じたことをまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・他の伝統的なアイヌ料理を調べたり、つくってみたりしたいと思った。 ・アイヌ料理を、また食べてみたい。 </div> ● 感想を発表する。														
特別の教科 道徳 (1 時間)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 2px;">主題名</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">ふるさとの誇り 内容項目C- (17)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">資料名</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">①「私たちの道徳」4-(7) 郷土や国を愛する心を</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ねらい</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">体験活動との関連</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">①導入で、伝統的なアイヌ料理の調理体験で感じたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(7) 語りつぎ、受けつぐ日本らしさを読む。</td> </tr> </table>			主題名	ふるさとの誇り 内容項目C- (17)		資料名	①「私たちの道徳」4-(7) 郷土や国を愛する心を		ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。		体験活動との関連	①導入で、伝統的なアイヌ料理の調理体験で感じたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(7) 語りつぎ、受けつぐ日本らしさを読む。	
	主題名	ふるさとの誇り 内容項目C- (17)													
	資料名	①「私たちの道徳」4-(7) 郷土や国を愛する心を													
	ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。													
体験活動との関連	①導入で、伝統的なアイヌ料理の調理体験で感じたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(7) 語りつぎ、受けつぐ日本らしさを読む。														

小学校

第6学年

体験活動	北海道アイヌ教育相談員の講話	時 数	3 時間
体験活動の目標	○ 講話を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等についての関心を高めることができる。		
地域の人材について	○ 北海道アイヌ教育相談員を活用する。		
地域の施設について	○ 特になし		
時 間	<div style="text-align: center;"> 学習過程 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 主な学習内容 	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点	
1～2	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道アイヌ教育相談員の講話を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について 	<input type="checkbox"/> 講話に興味をもって聴いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 講話を聴いて感じたこと、質問したいことをメモするよう指導する。 <input checked="" type="checkbox"/> メモをもとに、講話を聴いて感じたことをまとめ、発表する。	
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 講話を聴いて感じたことをまとめる。 ● 感想を発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史について、もっと知りたいと思った。 ・アイヌの人たちの生活やくらしは、どのように変化していったのだろう。 </div>		
特別の教科 道徳 (1時間)	主題名	郷土を愛する心 内容項目C-(17)	
	資料名	①「私たちの道徳」4-(7) 郷土や国を愛する心を	
	ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。	
	体験活動との関連	①導入で、講話を聴いたときに感じたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(7)「語りつぎ、受けつぐ日本らしさ」を読む。	

中学校

第1学年

体験活動	ムックリ（楽器）やサラニプ（袋）製作	時 数	3 時間
体験活動の目標	○ 楽器や袋を製作する体験を通して、自然とともに暮らしていたアイヌの人たちの生活や文化等について関心を高めることができる。		
地域の人材について	○ 白糠アイヌ文化保存会による「アイヌ文化出前講座」を活用する。		
地域の施設について	○ 特になし		
学習過程（時間）	● 主な学習内容		<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
1～2	● 「アイヌ文化出前講座」で楽器や袋を製作する。 ・「ムックリ（楽器）」 ・「サラニプ（袋）」		<input type="checkbox"/> 体験活動に意欲的に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動後に感じたことをまとめ、発表することを伝える。 <input checked="" type="checkbox"/> アイヌの人たちが自然とともに暮らしていたことに着目させる。
3	● 体験活動を通して感じたことをまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ムックリの演奏は、自然の中の音をいろいろまねて組み立てられているんだ。 ・アイヌの人たちは、木の皮をはがすときに木が枯れないようにしていたんだね。 ・自然とともに生きたアイヌの人たちの暮らしをもっと知りたいと思った。 </div> ● 感想を発表する。		
特別の教科 道徳 （1 時間）	主題名	自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心 内容項目D-（2 1）	
	資料名	①はあと・ふる2（中学校用）「どろ亀さんの森づくり」 ②「私たちの道徳」3-（2）美しいものへの感動と畏敬の念を	
	ねらい	自然と人間のかかわりについて考え、自然を愛し、その保全に努めようとする態度を育てる。	
	体験活動との関連	①導入で「アイヌ文化出前講座」の体験活動で感じたことを想起させる。 ②展開前半で、はあと・ふる2（中学校用）「どろ亀さんの森づくり」を読み、自然と人間のかかわりについて考えさせる。 ③終末で、「私たちの道徳」3-（2）「私たちのために地球という星があるわけではありません。（大木聖子）」を読む。	

中学校

第2学年

体験活動	北海道アイヌ教育相談員の講話	時 数	3 時間
体験活動の目標	○ 講話を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等についての関心を高めることができる。		
地域の人材について	○ 北海道アイヌ教育相談員を活用する。		
地域の施設について	○ 特になし		
時 間	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">学習過程</div> ● 主な学習内容		<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
1～2	● 北海道アイヌ教育相談員の講話を聴く。 ・アイヌの人たちの歴史や文化について		<input type="checkbox"/> 講話に興味をもって聴いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 講話を聴いて感じたこと、質問したいことをメモするよう指導する。 <input checked="" type="checkbox"/> メモをもとに、講話を聴いて感じたことをまとめ、発表する。
3	● 講話を聴いて感じたことをまとめる。 ● 感想を発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・北海道の開拓とアイヌの人たちのかかわりについて、調べたいと思います。 ・北海道に暮らすアイヌの人たちの歴史について知りたいと思った。 </div>		
特別の教科 道徳 (1時間)	主題名	郷土を愛する心 内容項目C-(16)	
	資料名	①「私たちの道徳」4-(8)ふるさととの発展のために	
	ねらい	郷土の先人に対する尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める態度を育てる。	
	体験活動との関連	①導入で、講話を聴いたときに感じたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(8)メッセージ(「ふるさと」に寄せる短い手紙)を読む。	

中学校

第3学年 「総合的な学習の時間」単元指導計画

単元名	・アイヌの人たちの歴史と文化		時数	10時間
単元の目標	・アイヌの人たちの歴史を踏まえ、調査活動やまとめる活動を通して地域の在り方について自分の考えをもつことができる。			
生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を明確にしながら、友だちのよさや助言を参考にして探究活動に意欲的に取り組み、発信しようとする様子が見られる。 これまでの学習をもとに、アイヌの人たちの歴史と文化について、課題を明確にするとともに、課題解決に向けて自分にできることを考えようとしている。 			
育てようとする資質や能力及び態度	1 学習方法に関すること	2 自分自身に関すること	3 他者や社会とのかかわりに関すること	
	①課題の解決を目指して、できごとを比較したり、原因や結果を結び付けて考え、自分の考えをもつ。	①自分の生活や地域の在り方を見直し、日常的に実践する。	①課題の解決に向けて、協力して社会活動に参加する。	
前学年との関連について	・第2学年では、社会科〔歴史的分野〕との関連を図り、アイヌの人たちの歴史について、理解を深めている。			
教材について	<ul style="list-style-type: none"> 対応表「中学校社会」及び「中学校総合」（北海道教育委員会）を参照 「ピラサ」（北海道教育委員会） 「ボン カンピソシ」（北海道立アイヌ民族文化研究センター） 「北大河・テツシ～松浦武四郎マップ～」(北海道上川振興局政策部地域政策課) 			
地域の人材について	・白糠アイヌ文化保存会「アイヌ文化出前講座」			
地域の施設について	○ 特になし			
時間	学習過程 ● 主な学習内容		<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点	
1～2	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ● アイヌの人たちの生き方の現在と昔の違いについて知り、自分のこれからの生活を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年の学習を振り返り、第3学年の学習に見通しをもつ。 ・対応表「中学校社会」及び「中学校総合」を参照し、アイヌの人たちの現在について知る。 ● 「アイヌ文化出前講座」を実施し、アイヌ民族の伝統や文化の過去・現在・未来についての講話を聞き課題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「北大河・テツシ～松浦武四郎マップ～」から松浦武四郎の足跡と出会った当時のアイヌの人たちの暮らしを調べる。 		<input type="checkbox"/> 出前講座やDVDの視聴などを通し、学習への意欲を高め、進んで学習に取り組んだり調べようとしている。(1-①) <input type="checkbox"/> 対応表「中学校社会」、「中学校総合」を参照。 <input checked="" type="checkbox"/> 社会科との関連を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの学習を踏まえ、自分たちの将来や町の在り方について考えるよう助言する。	

時 間	<div style="text-align: center;">学習過程</div> <div style="text-align: center;">● 主な学習内容</div>	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="radio"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点								
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの伝統的な儀礼が復活した理由を知りたい。 ・アイヌの人たちの文化を受け継ぎ、ミンタラなどが各地で行われている理由を調べよう。 ・現代風にアレンジされたアイヌ文様が、私たちの日常にも使われているか調べたい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> アイヌの人たちの昔と今の生活の違いについて考え、私たちの町のこれからについて考えよう。 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> ● 自分の課題を設定する。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化の新たな広がり ・白糠や北海道に住むアイヌ民族の現在 ・他の国や地域の先住民族とアイヌ民族 など </div>	<input type="radio"/> 白糠アイヌ文化保存会による「アイヌ文化出前講座」を活用する。 <input type="radio"/> 「ピラサ」20～22号 <input type="radio"/> 「ポン カンピソシ」2～5、7、8 <input checked="" type="checkbox"/> 問題を序列化して課題を設定する。 <input type="checkbox"/> これまでの学習や出前講座などから課題を設定している。(1-①) <input type="radio"/> 対応表「中学校社会」及び「中学校総合」を参照する。 <input checked="" type="checkbox"/> 社会科との関連を図る。								
<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 特別の教科 道徳 (1時間) </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">主題名</td> <td>地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に努めようとする道徳的実践意欲を育てる 内容項目C- (16)</td> </tr> <tr> <td>資料名</td> <td>①はあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な古式舞踊『サロルン チカプリムセ』(鶴の舞)」 ②「私たちの道徳」4-(8)ふるさとの発展のために</td> </tr> <tr> <td>ねらい</td> <td>日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展のために努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。</td> </tr> <tr> <td>体験活動との関連</td> <td>①導入ではあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な古式舞踊」の写真を提示し、「アイヌ文化出前講座」で学んだアイヌ民族の文化や伝統、未来についての話を想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(8)メッセージ(「ふるさと」によせる短い手紙)を読む。</td> </tr> </table>		主題名	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に努めようとする道徳的実践意欲を育てる 内容項目C- (16)	資料名	①はあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な古式舞踊『サロルン チカプリムセ』(鶴の舞)」 ②「私たちの道徳」4-(8)ふるさとの発展のために	ねらい	日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展のために努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。	体験活動との関連	①導入ではあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な古式舞踊」の写真を提示し、「アイヌ文化出前講座」で学んだアイヌ民族の文化や伝統、未来についての話を想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(8)メッセージ(「ふるさと」によせる短い手紙)を読む。
主題名	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に努めようとする道徳的実践意欲を育てる 内容項目C- (16)									
資料名	①はあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な古式舞踊『サロルン チカプリムセ』(鶴の舞)」 ②「私たちの道徳」4-(8)ふるさとの発展のために									
ねらい	日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展のために努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。									
体験活動との関連	①導入ではあと・ふる1「アイヌの人たちの伝統的な古式舞踊」の写真を提示し、「アイヌ文化出前講座」で学んだアイヌ民族の文化や伝統、未来についての話を想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(8)メッセージ(「ふるさと」によせる短い手紙)を読む。									
3～6	<div style="text-align: center; background-color: #0000FF; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 情報の収集 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> ● 様々な資料やインターネットから課題追究を行ったり、追究結果について他の人から意見を聞いたりするなど、見直しや修正を行いながら課題を解決する。 </div> <div style="text-align: center; background-color: #0000FF; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 整理・分析 </div> <div> ● 調査結果を基に、これからの町づくりの思いが伝わるように情報を整理する。 ● 中学生にできること、これからの私たちにできることなどの観点から調べたことを分析する。 ● 小グループでの発表会を通して代表を選び、協力しながら原稿の内容を修正する。 </div>	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット等で情報を収集する。 <input type="checkbox"/> 課題を解決するために追究活動を行い、できごとを比較したり、原因や結果を結び付けて考えている。(1-①) <input checked="" type="checkbox"/> カードで整理・分析する。 <input checked="" type="checkbox"/> 「ビフォー・アフター」の視点で整理・分析する。 <input type="checkbox"/> 課題を解決するために追究活動を行い、できごとを比較したり、原因や結果を結び付けて考えている。(1-①)								
7～8										